

事例4 国土強靱化5か年加速化対策に基づく災害に強い路網の整備 (九州森林管理局 宮崎森林管理署)



- 宮崎県宮崎市(みやざきし) 本田野(ほんたの)国有林
- (左上) 擁壁及び舗装工の着手前 (令和3年11月)
- (右上) 完成後の舗装工
- (右下) 完成後の擁壁工 (令和4年3月)



林野庁では、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」(令和2年12月11日閣議決定)に基づいて、路網の強靱化・長寿命化に取り組んでいます。国有林野事業や地域住民等への影響が大きな路線について、災害の激甚化等に対応できるように、令和3年度から令和7年度にかけて集中的に整備を行っています。

宮崎森林管理署では、重要インフラ緊急点検の結果等を踏まえ、過去に代替路として使われたことがあり峰越で2つの県道を連絡している上倉谷林道について、令和3年度に、コンクリート擁壁により路側を強化するとともに、降雨時の流水処理として、排水施設工及び舗装工等を実施しました。これにより、当該林道の代替路としての機能が強化されました。

当該林道においては、今後は法面保護工等も実施し、さらに災害に強い構造の林道の整備を推進します。